



Take The First Step 御中

Tokyo JAPAN



Take The First Step 御中

この度はドイツ国際平和村の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

2009年8月14日付けで、ペイ・フォワード倶楽部を通じ、Take The First Stepの皆様より265,174円を確かにお受取りしました。ドイツ国際平和村のスタッフ一同ならびに子どもたちを代表し、心から御礼申し上げます。皆様からのお気持ちは、援助を必要としている子どもたちのため大切にさせていただきます。

ドイツ国際平和村は、母国で十分な医学的治療を受けることができない、紛争や危機的状況に直面した子どもたちに援助を提供することを目的とし、1967年市民運動により設立されました。現在、主に3つの活動を中心として援助を行っています。まず1つ目は、傷ついた子どもたちへのヨーロッパでの医療的援助です。戦争や危機的状況におかれた罪のない子どもたちをヨーロッパで治療し、リハビリを行ない、できるだけ早く母国の家族のもとへ帰すという活動を行っています。紛争等の犠牲となった子どもたちのために直接的・間接的に医学的リハビリを専門とした活動を続けています。またそのために、私も子どもたちの母国での活動にも力を入れています。これが2つ目の活動です。医療施設の充実をはじめ、様々な援助活動を行っています。また物資の援助、特に薬の分野における援助にも力を入れています。この母国での活動は、子どもたちの治療を母国でできるようになることを目標として行われています。最後に3つ目の活動として、国から認定された平和教育活動を行っています。この活動を通して平和教育が実践的な貢献へとつながることを願っています。

またこの場をお借りして、ドイツ国際平和村の活動を報告させていただきます。

ドイツ国際平和村は8月に、第59回目となるアフガニスタンへの援助活動を行いました。8月15日、治療を終えた86人の子どもたちがフランクフルト空港から飛び立ち、母国アフガニスタンへ帰国しました。8月19日には、アフガニスタンから、母国では適切な治療を受けることができない病気やケガを抱えた子どもたち92人が、ドイツ国際平和村のスタッフと現地パートナー団体に付き添われ、サフィ航空でフランクフルト空港に到着しました。子どもたちは空港で待っていた救急隊とともに病院へと移動しました。必要な治療や手術を無償で担う協力病院での治療を受けた後、オーバーハウゼン市の施設にて生活します。ドイツ国際平和村は、子どもたちの治療後、できるだけ早く、母国の家族の元へ子どもたちを帰します。またアルメニア、グルジア、タジキスタン、ウズベキスタンからは、治療の必要な子どもたち42人が到着し、以前の援助飛行でやってきて治療の終わった子どもたち合計48人が帰国できました。

現地には平和村の援助を必要としている子どもたちがまだまだたくさんいるというのが現実です。一人でも多くの子どもに支援できるよう今後もドイツ国際平和村は地道な活動を続けていきます。重ねて、ドイツ国際平和村を代表し心より感謝申し上げますとともに、これからも子どもたちのため、皆様とともに歩んでいけますよう祈っております。

2009年9月24日

**FRIEDENSDORF INTERNATIONAL**

ドイツ国際平和村

宍倉 妙子 *Taeko Shishikura*

Taeko Shishikura